

## 令和2年度成田市10月補正予算説明資料

一般会計の補正予算額は517,578千円の増額で、補正後の予算額は81,936,304千円となります。

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症に係る本市独自の支援策第3弾として、市内の医療機関及び介護サービス事業所等の従事者に給付する慰労金や就労継続支援B型事業所に通所する利用者の工賃維持に要する経費を計上するとともに、初詣客の分散及び消費喚起などを目的としたキャッシュレス決済の利用に対する本市独自のポイント付与に要する経費、市内経済団体等と連携して、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組むための経費を計上します。

さらに、国の補助制度を活用し、65歳以上で基礎疾患を有する方などを対象としたPCR検査費用の助成に要する経費を計上します。

また、歳入について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（第二次交付決定分）などを計上します。

### 1. 補正予算額(一般会計)

517,578 千円 (補正後予算額 81,936,304 千円)

#### 【歳入】

国庫支出金 517,578 千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増、疾病予防対策事業費等補助金)

#### 【歳出】

総務費 159,494 千円

民生費 36,456 千円

衛生費 211,199 千円

商工費 110,429 千円

### 2. 補正事業

#### 【市独自の新型コロナウイルス感染症対策・支援事業】

○介護サービス従事者等慰労金給付事業 20,413 千円

○障がい福祉サービス従事者等慰労金給付事業 5,003 千円

新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクが高い利用者との接触を伴う障がい福祉サービス事業所及び介護サービス事業所の従事者等に対し、相当程度心身に負担がかかる中、強い使命感を持って業務に従事していることを慰労するため、本市独自の慰労金を給付します。

## 令和2年度成田市10月補正予算説明資料

○障がい者工賃応援金等給付事業 11,040 千円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による社会経済活動の停滞により生産活動が縮小している状況に鑑み、障がい者の生活の質及び意欲の維持に資することを目的として、就労継続支援B型事業所の利用者の工賃維持を図るために必要となる経費を計上します。

○医療従事者等慰労金給付事業 131,159 千円

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、日々感染症のリスクと向き合いながら、強い使命感を持って、市内の医療機関等（病院、診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション、保険薬局）で業務に従事している医療従事者や職員の方を慰労するため、本市独自の慰労金を給付します。

○中小企業等緊急支援事業 429 千円

市民及び本市を訪れる方が安心して市内商店等を利用できる環境を整えるため、市内経済団体等と連携して、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んでいることを内外に周知するために必要となる経費を計上します。

○迎春対策事業 110,000 千円

成田山新勝寺の初詣に際して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と市内経済活動の維持を目的として、初詣客の分散や消費喚起、キャッシュレス決済の推進を図るため、混雑時期経過後の令和3年1月中旬から1カ月間をキャンペーン期間とし、キャッシュレス決済（Pay Pay）での支払額に応じた本市の独自ポイント（21%分）を付与します。

### 【国の補助制度を活用した新型コロナウイルス感染症対策・支援事業】

○新型コロナウイルス感染症対策事業 80,040 千円

国の補助制度を活用し、65歳以上で基礎疾患を有する方、又は65歳以上で介護保険施設等に新規で入所する方が、本人の希望により新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査を受ける場合に、検査費用の一部を助成します。

### 【その他の事業】

○財政調整・減債基金積立金 159,494 千円

10月補正予算における歳入が歳出を上回る額について、財政調整基金に積み立てます。